工業っ子

No. 148
―発行日―
2017. 4. 27
―編集―
長崎工業高校新聞部
―発行―
長崎工業高校新聞部

長工に吹く、新しい風

平成29年度入学式

ようこそ長工へ！入学式

四月と言えば出会いの季節。四月十日に入学式が行われ、翌十一日の対面式で今年の長工メンバーがそろいました。また、今年度は創立八十周年。そのオープニングセレモニーもあり、節目の年が始まりました。

四月十日に本校の第一体育館で行われた入学式。新たに三百二十人が長工生の一員になりました。新たな制服に身を包み、緊張した様子で入場してきた新入生。新入生代表の挨拶は情報技術科の山本茂和君が行い、あどけなさの裏にやる気が伺える挨拶でした。

▲勢ぞろいした新入生

▲緊張の新入生代表挨拶

一年生担任インタビュー

今年の一年生の担任の先生方にインタビューし、次の二つの質問をしました。

質問内容
①クラスの第一印象
②どんなクラスにしていきたいかですか

M1山口翔史先生
①おとなしい。
②常にトップを目指すクラス。体育祭四～六連覇打倒A科。

P1田崎純一先生
①元気がある。
②思いやりがある生徒。

E1清水暁先生
①鍛え甲斐がある。まだ中学生気分が抜けていない。
②社会に自信を持って送り出せる生徒。

C1水田竜太先生
①色々な人がいる。
②明るく元気、おもいやりがあるクラス。

A1小川桂太先生
①育て甲斐がある。
②日本一の建築科に。

I1田平幸絵先生
①まだ自分の色を出せていない。
②一番を目指す。男子に負けない！

D1小川孝幸先生
①静か。
②結果にこだわる。

J1三谷誠先生
①明るくて元気。
②自分は何もしない。生徒全員でクラスをつくりあげてほしい。

▲クラスごとに呼名

「コエ」ミュニケーションはしてますか

春。それは出会いの季節。新入生の皆さん、入学おめでとうございます。入学時に満開だった桜は散りましたが、我々新聞部は新入部員を満開の笑顔でお迎えします。

最近、やたらと話題に上がる「SNS」の問題。私たちの身近には、LINEやツイッター、インスタグラム、フェイスブックなどさまざまなSNSがあります。利用している人も多いのでは。

なかでもLINEは非常に便利なものです。伝えたいことがあると、いつどこにいようとメッセージを送るだけで要件を伝えることができる。しかし、このお手軽さがあだとなり、毎日深夜までついつい友達とメッセージを送り合ってしまうなどの問題もあります。こんなものはまだかわいいもので、ほかにも短いメッセージでやりとりするという形式がゆえに、自分が伝えたいことが正しい意味で伝わらない。文字だけでは感情を伝えるのが難しく、誤解を生む虞がある。人との距離感が近づきすぎて言葉を選び間違えてしまい、人間関係が壊れてしまったり：などの問題もあります。たかが文字、されど文字。私もこのようなことが原因で喧嘩になってしまったことがあります。対面での口喧嘩なら言った言葉はその場で消える。LINEでの喧嘩は記録として残る。その後仲直りできたのでよかったのですが、ログを見返して後悔しました。冷静になって見てみると、普段口に出せないような事を言っており、相手を傷つけるような言葉ばかりでした。

本当に伝えたいことは電話か、直接会って話す。そうすることが人間関係によるすれ違いをなくす一番の方法のような気がします。今の時代、手軽になった文字でのコミュニケーション。だからこそ声のコミュニケーション、対面でのコミュニケーションも大切にしていくべきではないでしょうか。ときに声、表情は一瞬にして多くの事柄を伝えることがあります。

百薬の長といわれる酒も度が過ぎれば害になるように、LINEも適度に使う分には便利ですが度が過ぎると害になります。このことを胸に刻んでおきましょう。（岡本）

学年主任インタビュー 松瀬先生に聞く

一年生の学年主任である P科の松瀬正人先生に同じく「一年生の担任の先生方と一年生の第一印象」「一年生をどのように育てていきたいか」を伺ってみました。

松瀬先生の第一印象は「今年の新入生は、なんとなく元気がないように感じる」と、また「最終的にはタフな長工生になってもらおうと思う」と笑顔で答えてくださいました。

高校生活には多くの困難が待ち受けています。そのときに協力しあえる仲間、くじけずに乗り越えられるタフさを手に入れてください。

▲学年主任松瀬先生

少しの不安と未来への期待

対面式&八十周年オープニングセレモニー

四月十一日体育館で対面式と八十周年オープニングセレモニーが行われました。

▲これからよろしく！（対面式）

校歌の声量に新入生驚き 対面式

対面式では新入生と在校生が初の顔合わせとなり、在校生が校歌を熱唱。新入生代表J1山本茂和君が本校に入っての決意などを述べました。この後、山本君に感想を聞くと「選ばれて嬉しかった」と「選ばれて嬉しかったです。緊張して足がぶるぶるしました。二・三年生の校歌を聴いてみてとても声が大きく、これが長工なんだなぁと思いました」とのことでした。

▲８０周年の幕開け

八十周年の幕開け オープニングセレモニー

対面式の後、長工八十周年オープニングセレモニー。長工OBの武田先生が中心となって制作された八十周年記念映像が投影されました。卒業アルバムから切り取った写真から長工の歴史の振り返り、OBの先生方の今と昔の姿の比較など、先生、生徒共に楽しめる内容になっていました。この映像のときに八十周年記念の標語、ロゴマークも発表され、八十周年が完全に始動しました。

ついに八十周年を迎えた長工。今年の行事ごとは盛大なものになるでしょう。長工で一丸となり、気合いを入れていきましょう。

プログラム班を選びました。なにせ、今年は長崎工業が八十周年、三年に一度の工業展が大工業展に。そのためか、課題研究のだいたいの完成が普通十二月をめどにするところ、完成日が早まりそうです。できるかな。いや、やらなくちゃいけないんだけど。

何かとぼーっとしていることが多い最近、全くやる気が起こりません。たとえば、文章力向上のための読書や資格、検定など。やることは山積み。ピンチのはずなのに危機感が全くありません。心の中は「根拠のない自信」で満ちあふれています。やる気スイッチ、見つけなきゃ。早く見つかるといいなぁ…。あっ、あった！：。足の裏に。なるほど、だから飽きやすいのかな。こういうときの作戦名は「あきないようにしぶしぶいこうぜ」。成功の秘訣は「人に言う」。みなさんもよろしければ口頭で伝えてください。（塚根）

青春日記

新学期。学年が上がり、一年生が入学しました。やっと、長崎工業の全学年が揃いましたね。それはそうと不安の種でもあった実力テストも終わり、現在私の精神は桃源郷に旅行中です。もちろん、体はお留守番です。

学年が上がったことにより、身の回りの大部分が変わりました。担任の先生、一週間の時間割、教科の担当の先生はもちろん学習する科目も。得意だった物理や電気基礎などの教科がなくなり、新しく通信技術や家庭科、製図が増えました。製図はテストはありませんが、他は中間考査や期末考査に点数がとれるかどうかとても不安です。さらに心配なのは課題研究です。現在暫定で課題研究内容が決まっています。私は

今日の一枚 ～春が来た～

今回は春の代名詞である桜の一枚です。

珍しく入学式の頃まで咲いていた本校の桜。その後雨の日が多かったせいか、桜の花びらの大半が散っていました。宙に咲く桜と同じくらい散った桜も美しいなと感じました。

散った花びらを別れに例えることがありますが、私はそうは思いません。出会いを求めて遠くへ旅立っていると思います。

果たして今年はどんな出会いが私を待っているのでしょうか。（渡部）

元気な長工生に期待！
着任の先生方にインタビュー！

新しく四月一日より本校に配属されて勤務されている十六名の先生方。長工での意気込みをインタビューしました。

①長工の第一印象
②長工で頑張りたいこと

副校長　松山大治先生
①一年ぶりに帰ってきた。利発な生徒たちと話すのを楽しみにしている。
②日本一の工業高校目指して生徒と共に頑張る。

主幹事務長　北川和広先生
①生徒・職員数が多い。
②全職員の顔と名前を覚える。

理科　田中耕二先生
①校舎の構造が複雑。
②今から見つけたい。

保健体育　下村孝彦先生
①明るい、あいさつができる、素直。
②ラグビー部の指導。

国語　瀬崎ゆかり先生
①作業着を着た生徒がかっこいい。
②工業高校は初めてで知らないことが多いので、新鮮な気持ちで生徒と一緒に学びたい。

数学　田崎純一先生
①挨拶が良く活気がある。
②一つ一つの仕事に専念したい。

英語　平野美枝先生
①校舎に日差しが入りにくい。
②失敗を減らすこと。

理科　山口勝利先生
①いろいろな科があり、楽しそう。
②危険物取得に役に立つような授業をしたい。

社会　渕上まどか先生
①長崎県で一番の工業高校だろうという期待。
②工業のことも勉強したい。

電子工学科　山崎裕二先生
①大きな学校。
②ものづくり。

▼松山大治副校長先生

▲保体　下村孝彦先生

家庭科　小泉美枝子先生
①窮屈な場所にある学校。
②生徒の名前を覚える。

美術　水田竜太先生
①懐かしい。
②八十周年を盛り上げていきたい。

機械科　平川陽先生
①元気がある。
②剣道部の指導。

工業化学科　中道明宏先生
①思っていた以上に気さくで明るく、親切なのですぐに馴染めそう。
②一年目なので、先生としての役割を果たす。

情報技術科　西田利興先生
①建物がひしめき合っている。
②何でも頑張る。

事務　添川正幸先生
①資格取得日本一。
②事務員なので修繕を頑張りたい。

新任の先生方、改めてよろしくお願いします。今年度は創立八十周年で忙しくなるとは思いますが、共にすばらしい長工を築き上げていきましょう。

▼C科　中道明宏先生

▲M科　平川陽先生

▼これから宜しくお願いします！

新入部員獲得に向けて
部活動紹介

四月四日に行われた部活動紹介。約二分間と言う短い間に各部活動の特色がよく表れていました。部活動紹介終了後、新入生にインタビュー。

▲唯一のマスコット登場
長工Ｊｒくん！

高校生の平和活動
「身近なところで感じる幸せ」

三月十八日に長崎原爆資料館で開催された家族・交流証言フォーラム。四名の方による被爆講話発表と青少年ピースボランティアの方々による、若者の平和活動の紹介もありました。このメンバーの中には、長工生も参加しており、その一人であるインテリア科二年平古場有紀さんに発表後、インタビューをしました。

▼平和の想いを語る平古場さん

Q この活動をやろうと思ったきっかけは何ですか。
―中学生の頃から平和に興味があり、後にこの活動のことを知り、もっと知りたいと思ったから。

Q 活動を行って感じたことを教えてください。
―身近なことに平和を感じました。

Q 幸せだと感じるときはいつですか。
―友達と遊んでいるとき。趣味に没頭しているとき。

また、今回の催しの主催者の方にお話を伺うと「今年で二回目の開催。被爆の体験を次世代に語り継いでもらいたいという思いで開催している」とのこと。

幸せと思えるのは、今が平和だという証です。これからもこの平和を守っていきましょう。

今回は編（変）てふ工生！！！パート③
～みんなはいくつ当てはまる？～

※新学期のやらかしにはご注意を

シリーズ ロボコン道 ⑨
来たれ、新入生！

▼脳みそフル回転

四月に入り、今年の大会のルールが発表されました。今年のモチーフは秋田竿燈まつり。二年連続の全国出場を目指して、早速部員全頭をフル回転させています。今年でロボコンに出すロボットを作るのは、三年目になり、年々難しくなっている気がします。さらに今年は二、三年生の人数が少なく、人手が足りないという問題もあります。まだ入る部活を悩んでいてこの記事を読んでいるそこのあなた！これは運命です。ぜひロボット研究部ロボット研究班に入って下さい！学科は問いません！必要なのはやる気と根気です！待ってます！（D３　橋口）

スポーツトピックス

バスケットボール
六点差で惜しくも敗れ　第三位

四月十五日から諫早市とどろき体育館にて行われたバスケットボール春季選手権県大会準決勝。本校バスケットボール部は長崎東高校に八十対八十六で惜敗。第三位に甘んじることとなりました。キャプテンのＡ３田中輝君にインタビューすると「まだまだいけると思った。リバウンドを取りにいけてなかったので、そこをしっかり改善し、高総体では優勝目指して頑張りたいです」とコメント。また、顧問の松瀬先生は「あまり納得のいかない結果に終わってしまった。４クォーター目に弱くなっている。そこを意識し、もっと自分たちで考えてのプレイが大事」と話されていました。

今回の大会で見つかった課題を克服し、高総体では優勝しようという意思がとても印象的でした。

ハンドボール
まずまずの成績　第三位

四月十七日、佐世保西高校で行われたハンドボール県春季戦の準決勝。結果は長崎日大高校に十一対二十で敗れ、三位。残念なことに当日、キャプテンと副キャプテンが体調不良のため不在のアクシデントも。

Ｉ３若杉龍之介君に試合の感想を聞くと「キャプテン・副キャプテン不在の中全力で頑張りました。良かった点はディフェンス。オフェンスとフットワークが足りないと感じた」とのこと。次こそは打倒日大！

▲ハプニングを乗り越えて

二年生な☆日々

気付いた方は工業っ子マイスター。この欄は二号連続私、渡部が担当しています。

去る十九日の部活動編成を終え、我が新聞部は、五人の新入部員を迎えることが出来ました。しかもその中の二人は部活動編成前に直接入部届を提出し、やる気十分。後輩の今後に期待です。

後輩繋がりで、私が体験した新入生あるあるを。その一、校内迷子。教室間違いは本当に恥ずかしかったです。その二、昼休みの教室静寂事件。様々な地域から生徒が集まる高校。クラスメイトは知らない人ばかりで何を話せばいいか全く分かりませんでした。その三、すれ違う人を履物で判断する。先生はもとより生徒も実習服を着る長工。特に三年生と先生は履物を見ないと分かりません。最後にとっておき、帰りのバス寝過ごし。睡魔は常に私たちを狙っています。一日を終え、安堵している帰りのバスは要注意です。家に帰るまでが学校。自宅と学校の境界線は玄関です。

このような経験を経て、私は成長しました。俗に言う失敗をバネに、です。新入生の皆さんも失敗を恐れずに、様々なことに挑戦してみましょう。私もさらに成長できるよう頑張ります。（渡部）

編集後記

立八十周年を迎えました！身が引き締まる思いです。無事に新入部員を五人獲得することができました。まさかこんなにも入部してくれるとは思いませんでした。新チームとなった新聞部。一丸となって頑張っていきます。